

拝啓、毎回全く同じ文面だった冒頭文を少し簡略化しました。

私播磨屋助次郎は、地元警察が「天皇陛下のご命令です」と明言して、健康状態を毎月欠かさずチェックしに来てくれる、そんな特別な人間なのです。

その積もりでお読み頂ければ幸いです。

今回は、誠に恐縮ながら少々生臭い政治向きの話です。

しかし最後は、美しくまとめますので悪しからずご了承ください。

それは昨年五月末、ロシアのプーチン大統領が故安倍晋三元首相の夫人昭恵さんを、クレムリン宮殿に大歓迎招待したあの時の話です。

そのニュースは、ロシア国営タス通信によって即刻全世界へ配信されました。今回私は、この出来事の真相を「神推測」してお知らせしたいのです。

プーチン大統領は、政治上の旧交を暖め続けるような人物ではありません。

しかしまた、世に喧伝けんでんされているような冷酷無比な人物でも全くありません。

「世界の恒久的平和実現を熱望する偉大な政治家」私はそう推察しています。故にあのニュースは、徳仁天皇に向けて発信されたのではと考えるのです。

覚者播磨屋助次郎に、徳仁天皇を「救世主」にして世界の恒久的平和を実現せんとする「神策」があることを察知して、自分も協力したいと考えられています。

プーチン大統領は、自身没後の祖国ロシアの平和永続に不安をお持ちなのです。

こんなある意味突飛もないことを考えるのは、東京のロシア連邦大使館が、私の活動に対して、普通では考えられないほど異常に友好的だからです。

意外や意外、瓢箪ひょうたんから駒が出るかも知れませんよ。皆様どうぞお楽しみに。

令和八年 救世手紙七

代表取締役 覚者播磨屋助次郎 敬白